

## 予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：商工費 項：観光費 目：観光開発費

## 事業名 電子観光クーポン「ぎふ旅コイン」事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部 観光国際局 観光誘客推進課 国内誘客係 電話番号：058-272-1111(内3959)

E-mail：c11336@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 255,000 千円 (前年度予算額： 300,000 千円)

## &lt;財源内訳&gt;

※R3.3月補正額

| 区 分 | 事業費     | 財 源 内 訳    |            |            |            |     |     |     |            |
|-----|---------|------------|------------|------------|------------|-----|-----|-----|------------|
|     |         | 国 庫<br>支出金 | 分担金<br>負担金 | 使用料<br>手数料 | 財 産<br>収 入 | 寄附金 | その他 | 県 債 | 一 般<br>財 源 |
| 前年度 | 300,000 | 300,000    | 0          | 0          | 0          | 0   | 0   | 0   | 0          |
| 要求額 | 255,000 | 0          | 0          | 0          | 0          | 0   | 0   | 0   | 255,000    |
| 決定額 |         |            |            |            |            |     |     |     |            |

## 2 要 求 内 容

## (1) 要求の趣旨(現状と課題)

コロナ禍を受けた県内観光産業への支援のため、令和3、4年度に国の補助金を活用した「ほっと一息、ぎふの旅」キャンペーンを実施した。キャンペーンの実施により、観光需要が回復してきているが、国及び県の支援がなくなった後の反動が懸念される。また、繁忙期を中心に需要は回復しているが、インバウンドの回復はもう少し時間を要すると思われる、引き続き、平日・閑散期の観光需要の喚起が必要である。

そこで、令和5年度も継続した支援を実施するため、(一社)岐阜県観光連盟の「ぎふ旅コイン」を活用し、幅広い観光産業への支援を目的とした電子観光クーポン事業を実施するとともに、同システムを活用し、県内観光産業のデジタル化を推進する(観光DXの推進)。

## (2) 事業内容

- ① ソフトランディング・閑散期対策事業
  - ・閑散期の宿泊商品へのポイント付与
  - ・プレミアム付きポイントチャージ
- ② 「新たな旅スタイル」の推進事業
  - ・ワーケーション・ドライブツーリズム推進のためのポイント付与
- ③ 「ぎふ旅コイン」取引等データの分析、観光産業への還元

(3) 県負担・補助率の考え方

岐阜県全域にまたがる国内誘客の推進は県の事業である。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

| 事業内容 | 金額      | 事業内容の詳細                           |
|------|---------|-----------------------------------|
| 補助金  | 255,000 | 「ぎふ旅コイン」運営にかかる補助金（ポイント原資、事務局運営費等） |
| 合計   | 255,000 |                                   |

**決定額の考え方**

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

岐阜県長期構想

- II ふるさと岐阜県の資源を活かした活力づくり
- 3 地域の魅力を高め、観光交流を拡大し、消費を増やす  
(人を呼び込み、地域の消費を拡大するために)

岐阜県観光振興プラン

岐阜県デジタル・トランスフォーメーション推進計画

- ワーケーションの推進
- 観光事業者のデジタル化支援及び事業者間ネットワークの構築支援

(2) 国・他県の状況

- R2年度 GoToトラベル事業を実施。他県も上乗せ補助等を実施。
- R3年度 地域観光事業支援を実施。他県も同補助による宿泊割引を実施。
- R4年度 地域観光事業支援（県民割・地域ブロック割、全国旅行支援）を実施。

(3) 後年度の財政負担

コロナ対策の単年度事業

## 県単独補助金事業評価調書

新規要求事業

継続要求事業

**(事業内容)**

|           |   |
|-----------|---|
| 補助事業名     | 電子観光クーポン「ぎふ旅コイン」事業費補助金  |
| 補助事業者（団体） | （一社）岐阜県観光連盟<br>（理由） 県内最大の民間観光団体であり、県と連携し、観光産業の発展に努めている。                                       |
| 補助事業の概要   | （目的） 岐阜県観光連盟が実施する「ぎふ旅コイン」の運営を支援<br>（内容） 幅広い観光産業の支援のための「ぎふ旅コイン」による電子観光クーポンの配付等及び「ぎふ旅コイン事務局の運営」 |
| 補助率・補助単価等 | 定額・定率・その他（例：人件費相当額）<br>（内容） 定率 10/10<br>（理由） 県の国内誘客事業と連携する事業                                  |
| 補助効果      | 岐阜県観光消費額の増大   |
| 終期の設定     | 終期 令和5年度<br>（理由） コロナ禍での緊急的な支援事業   |

**(事業目標)**

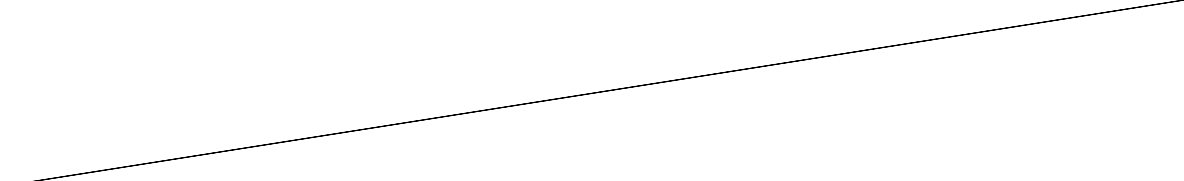
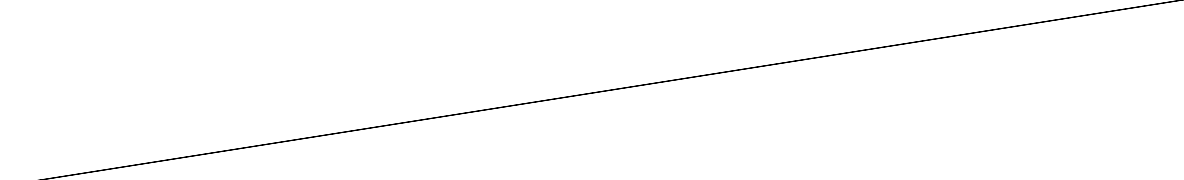
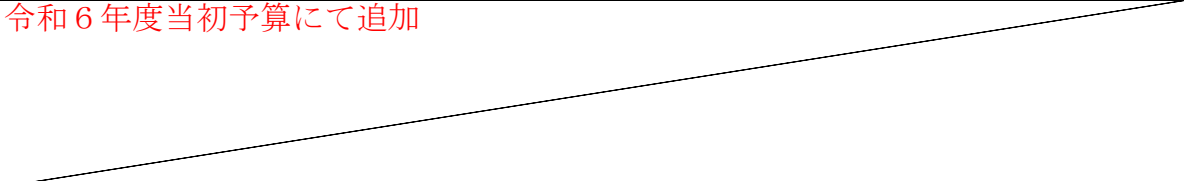
|   |
|---|
| <p>・終期までに何をどのような状態にしたいのか<br/>新型コロナウイルスにより落ち込んだ観光産業の速やかな回復及び観光事業者のデジタル化支援及び事業者間ネットワークの構築支援</p> |
|---|

**(目標の達成度を示す指標と実績)**

| 指標名             | 事業開始前<br>(R) | R3年度<br>実績 | R4年度<br>目標 | R5年度<br>目標 | 終期目標<br>(R7) |       |
|-----------------|--------------|------------|------------|------------|--------------|-------|
|                 |              |            |            |            | 目標           | 達成率   |
| ①観光消費額          | /            | 1,721億円    | 2,400億円    | 2,900億円    | 3,300億円      | 52.2% |
| ②観光入込客数<br>(実数) | /            | 3,842万人    | 4,000万人    | 4,800万人    | 4,900万人      | 78.4% |

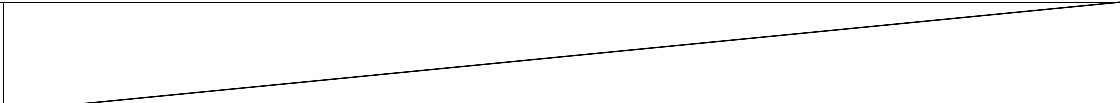
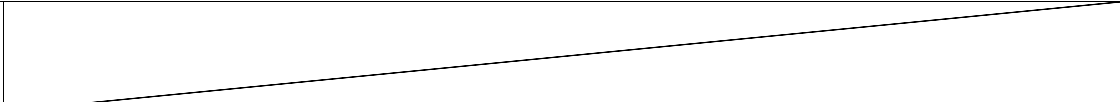
|                    |      |      |      |
|--------------------|------|------|------|
| 補助金交付実績<br>(単位：千円) | R元年度 | R2年度 | R3年度 |
|                    | /    | /    | /    |

(これまでの取組内容と成果)

|               |  |
|---------------|--|
| 令和<br>2<br>年度 |  |
|               | 指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %  |
| 令和<br>3<br>年度 |  |
|               | 指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %  |
| 令和<br>4<br>年度 |  |
|               | 指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %  |

令和6年度当初予算にて追加

(事業の評価)

|   |  |
|---|--|
| <p>・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)<br/>3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</p>   |  |
| (評価)<br>3   | <p>新型コロナウイルスにより落ち込んだ観光産業の速やかな回復及び観光事業者のデジタル化支援及び事業者間ネットワークの構築支援事業</p>                |
| <p>・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)<br/>3：期待以上の成果あり(単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり)<br/>2：期待どおりの成果あり(単年度目標100%達成)<br/>1：期待どおりの成果が得られていない(単年度目標50~100%)<br/>0：ほとんど成果が得られていない(単年度目標50%未満)</p> |  |
| (評価)  |  |
| <p>・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)<br/>2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</p>   |  |
| (評価)  |  |

(今後の課題)

|   |
|---|
| <p>・事業が直面する課題や改善が必要な事項<br/>登録事業の増加を図る必要があるとともに、継続的な運営を行うための事務局機能のあり方・事業者負担等の検討を要する。</p> |
|---|

(次年度の方向性)

|   |
|---|
| <p>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか<br/>コロナ禍での観光産業からの継続の要望が高いことから、課題の検討を踏まえ事業継続を検討する。</p> |
|---|